

2006 年度

科目名 考古学概説 B	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 犬木 努
授業テーマ 考古学の基礎を学ぶ（その2）		
授業の概要と目標 本講義では考古学の基本に立ち返り、その基本的な方法論について、具体例を交えながらわかりやすく解説する。また、各時代の様相について、具体的事例を交えながら検討する。本来、考古学とは遺跡や遺物（遺跡から掘り出された「物＝モノ」）から、過去の人間の営み（「事＝コト」）を復元する学問である。過去の人々が残してくれたモノは、往々にして寡黙であるが、こちらが上手に語りかけてやると、実に様々なことを雄弁に語ってくれる。本講義では、遺跡や遺物から過去の歴史へとアプローチするための基礎的方法を習得することを目的とする。		
評価方法 夏期休暇に課すレポートと学年末に行う筆記試験によって行う。出席点も重視する。		
テキスト 使用しない。毎回、資料を配布する。	著者	出版社
参考書 授業中に適宜指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 古墳時代前夜（1）魏志倭人伝の世界① 2. 古墳時代前夜（2）魏志倭人伝の世界② 3. 古墳時代の考古学（1）古墳時代とはどのような時代か？ 4. 古墳時代の考古学（2）前方後円墳の成立 5. 古墳時代の考古学（3）前期古墳の諸様相① 6. 古墳時代の考古学（4）前期古墳の諸様相② 7. 古墳時代の考古学（5）中期古墳の諸様相 8. 古墳時代の考古学（6）後期古墳の諸様相 9. 古墳時代の考古学（7）古墳時代人の生活空間（衣食住） 10. 古墳時代の考古学（8）古墳時代の精神世界（祭祀、習俗） 11. 歴史時代の考古学（1）飛鳥時代 12. 歴史時代の考古学（2）奈良時代 13. 歴史時代の考古学（3）平安時代 14. 予備日 15. 試験 ※ただし、項目によっては数回にわたって行う。また、この順序で授業を進めない場合もある。		